

音楽が繋ぐ、日本とルーマニアの新しい響き。
松本から世界へ。

日本・ルーマニア 音楽交流 コンサート 2026

第1部 | 日本の若い音楽家による演奏

次世代を担う、協会主催コンクール入賞者たちによる瑞々しい演奏。

佐藤 佳奈子(ピアノ)、咲久徠 史子(パンフルート)

第2部 | トーク&文化紹介

テーマ:音楽を通して世界と出会うということ

日本とルーマニア、それぞれの視点から「世界への入口」を語るダイジェスト・セッション。

■ 世界への扉を開けた記憶

■ 芸術の国を知る

第3部 | ルーマニアからのゲスト演奏

ルーマニアの演奏家による、心揺さぶる至高のパフォーマンス。

ジャン・モカヌ / Jan Mocanu(アコーディオン)

ヴィオレル・パプク / Viorel Papuc(パンフルート)

翌日開催 | 4月5日(日) 交流エクスカーション

ゲストと一緒に、松本の歴史と文化を巡る

コンサート翌日は、ルーマニアからのゲストと日本の若き音楽家・ご家族が直接触れ合う、体験型の交流企画を行います。

主催: NPO法人日本ルーマニア音楽協会

後援: ルーマニア大使館、UCIMR、松本市、松本市教育委員会、松本商工会議所、(一財)松本市芸術文化振興財団、(一社)松本ピアノ協会、(株)市民タイムス、TEENSROCK in MATSUMOTO実行委員会、(株)DEARSWORKS、リニア電気工業(株)、三協電気工業(株)、(株)河合楽器製作所 松本店、(株)ミュージックプラザオグチ

協力: 松本商工会議所

2026年4月4日(土) 18:30開演(18:00開場)

松本市音楽文化ホール 小ホール

〒390-0851 長野県松本市島内4351

チケット 一般: 3000円(協会会員: 2000円)
高校生以下: 1000円

TiGET <https://tiget.net/events/468019>
松本市音楽文化ホール 0263-47-2004

お問い合わせ: romaniastaffdata@gmail.com



CC BY-SA 3.0 FO

松本から世界へ。

音楽が繋ぐ、日本とルーマニアの新しい響き。

日本ルーマニア音楽協会は、コンクール等を通じて若き音楽家たちに「世界」を届けてきました。本公演は、その志を国内でも形にする、松本から始まる新たな交流の場です。海を越えた共演を間近に感じ、子どもたちが「世界への入口」を肌で感じるきっかけとなることを願っています。音楽文化への造詣が深いこの地で、国境を越えた旋律が共鳴するひととき。皆様と一緒に、輝かしい未来への一步を刻めることを楽しみにしています。



Program

【第1部】日本の若い音楽家による演奏

次世代を担う、協会主催コンクール入賞者たちによる瑞々しい演奏。



佐藤 佳奈子(ピアノ)

英国王立音楽院ピアノ科修士課程修了。ブリュッセル・グランドプライズヴィルトゥオーゾ国際音楽コンクール第1位、ユリウシュ・ザレンブスキ国際音楽コンクール第3位など、入賞多数。セントラル愛知交響楽団と共演。名古屋・神戸・軽井沢にてリサイタル・コンサートを開催。関西・大阪万博2025ルーマニア館にて演奏。2022-25年度日本芸術協会奨学生。金城学院大学非常勤講師。メニコンHITOMIホールアーティスト。



咲久徠 史子(パンフルート)

パンフルート奏者・作曲家。8歳よりパンフルートを始め、本場ルーマニアにてラドゥ・ネキフォル氏に師事。第14回ルーマニア国際音楽コンクールでオーディエンス賞を受賞。2019年日本大使公邸でのリサイタルや、2021年シビウ国際演劇祭へのアジア人初出演など国際的に活躍。2025年大阪・関西万博では公式プログラムで演奏を果たす。現在、日本ルーマニアパンフルート協会会長、東京音楽大学非常勤講師などを務める。

【第2部】トーク&文化紹介

テーマ：音楽を通して世界と出会うということ

日本とルーマニア、それぞれの視点から「世界への入口」を語るダイジェスト・セッション。

【世界への扉を開けた記憶】



【芸術の国を知る】



【第3部】ルーマニアからのゲスト演奏

ルーマニアの演奏家による、心揺さぶる至高のパフォーマンス。

ジャン・モカヌ / Jan Mocanu(アコーディオン)



「アコーディオンの王様」と称されるルーマニア音楽の巨匠です。楽器をソロ・オーケストラへと昇華させたヴィルトゥオーゾであり、精密な「クリスタル・サウンド」で後進に多大な影響を与えました。マリア・ラタレツら伝説的歌手の伴奏を務める傍ら、国際的にも活躍。ラウタリ音楽に規律と高い芸術性をもたらし、フォークロア

からジャズまでこなす多才さで、現代音楽の設計者として今なお指標と仰がれる存在です。

ヴィオレル・パプク / Viorel Papuc(パンフルート)



2007年生まれ、ナイ(パンフルート)の次世代を担う新星です。巨匠ゲオルゲ・ザンフィルを目標に掲げ、伝統音楽からクラシック、宗教音楽まで幅広く精通しています。2023年以降、国内主要フェスティバルの大賞を総なめにするなど、その実力は折り紙付きです。電子的な加工を排し、楽器本来の純粋な響きと精神性を大切に

にする真摯な姿勢は、ルーマニア伝統音楽の未来を象徴する存在として期待を集めています。